



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3184 URL https://www.icda.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光  
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)服部 宝 (TEL) 059-381-5540  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 2023年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	30,496	7.2	1,372	△11.0	1,404	△10.0	883	△9.5
2022年3月期	28,453	6.5	1,542	5.6	1,560	7.1	975	23.8
(注) 包括利益	2023年3月期		969百万円(△8.2%)		2022年3月期		1,056百万円(21.7%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	420.75	—	11.2	9.1	4.5
2022年3月期	464.75	—	13.9	10.4	5.4

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 - 百万円 2022年3月期 - 百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	15,618	8,568	53.0	3,943.40
2022年3月期	15,253	7,709	48.9	3,549.22

(参考) 自己資本 2023年3月期 8,280百万円 2022年3月期 7,452百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	3,194	△2,269	△923	678
2022年3月期	1,783	△1,488	△500	676

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	104	10.8	1.5
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	104	11.9	1.3
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		11.5	

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,341	△5.0	546	△36.5	557	△36.6	354	△37.3	168.61
通期	31,000	1.7	1,383	0.8	1,400	△0.3	914	3.5	435.46

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	2,100,000株	2022年3月期	2,100,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	207株	2022年3月期	207株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	2,099,793株	2022年3月期	2,099,793株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	540	5.6	155	35.3	189	28.8	166	15.9
2022年3月期	511	△0.6	114	△14.7	146	△10.8	144	11.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	79.47	—
2022年3月期	68.58	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2023年3月期	4,856	59.9	2,908	59.9	2,908	59.9	1,385.07	
2022年3月期	5,363	53.0	2,843	53.0	2,843	53.0	1,354.25	

(参考) 自己資本 2023年3月期 2,908百万円 2022年3月期 2,843百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主要エリアである三重県下において、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数増加による経済活動停滞の影響は少なく、経済情勢は持ち直しております。しかし、急激な円安による物価上昇や原材料費の高騰等の影響による製造業を中心とした経済活動の鈍化が懸念されております。

当社グループにおいては、従来より実施している既存顧客に対するフォローアップ活動の更なる強化を図ることにより、既存顧客からの受注は堅調に推移しております。さらに、車検・点検等の入庫においても既存顧客に対するフォローアップ活動の結果、堅調に推移いたしました。しかしながら、世界規模の半導体不足等による、商品(車両及び部品等)の供給遅れ又は出荷停止等による販売台数の鈍化等、業績に与える影響が懸念されております。

また、新規出店等の投資活動について一部遅れが発生いたしました。

これらの結果、売上高は304億96百万円と前年同期と比べ20億43百万円(7.2%)の増収、営業利益は13億72百万円と前年同期と比べ1億69百万円(11.0%)の減益、経常利益は14億4百万円と前年同期と比べ1億56百万円(10.0%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は8億83百万円と前年同期と比べ92百万円(9.5%)の減益となりました。

#### ① 売上高及び営業利益

売上高は304億96百万円と前年同期と比べ20億43百万円(7.2%)の増収、営業利益は13億72百万円と前年同期と比べ1億69百万円(11.0%)の減益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

##### (自動車販売関連事業)

当セグメントにおきましては、国産新車販売は、中国上海のロックダウンによる生産停止のほか、半導体不足等による製造ライン稼働率低下の影響を受け商品入庫が安定しない状況が発生いたしました。在庫車両の販売に注力したことと、商品入庫減を見越した商品仕入が功を奏したことにより、国産新車販売台数は前年同期比3.5%増の5,258台となりました。輸入車においては、ロシアのウクライナ侵攻による、近隣国等サプライチェーンの稼働停止の影響により、商品入庫の回復見込みが不透明な状況が続いており、輸入車販売台数は前年同期比3.3%減の445台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比2.9%増の5,703台となりました。

中古車販売については、既存顧客からの受注が堅調に推移しておりますが、新車商品の供給遅れ等が長期化する見込みのため新車販売店舗においても中古車販売を強化いたしました。しかし、中古車オークション相場の価格については当第3四半期連結会計期間以降、相場が下落傾向となり、卸売(業販)が鈍化したことで、中古車販売台数は前年同期比2.6%減の9,342台となりました。

これらの結果、売上高は291億9百万円と前年同期と比べ17億44百万円(6.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は14億14百万円と前年同期と比べ1億8百万円(7.1%)の減益となりました。

##### (自動車リサイクル事業)

当セグメントにおきましては、生産台数(再資源化处理)は前年同期比7.0%増の9,051台となり、使用済自動車の入庫は、前年同期比14.3%増の9,390台となりました。売上高は、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場が高値で推移した結果、資源関連売上は増加しておりますが、当第3四半期連結会計期間以降においては、資源相場が下落傾向となっております。また、輸出関連売上については増加傾向となっております。しかし、売上原価は、全国的な新車販売台数減少の影響等による中古車オークション相場の価格高騰が当第2四半期連結累計期間まで続いたことにより、大幅に増加いたしました。

これらの結果、売上高は13億86百万円と前年同期と比べ2億98百万円(27.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億80百万円と前年同期と比べ79百万円(30.6%)の減益となりました。

#### ② 経常利益

営業外損益については、営業外収益での受取保険金の増加により営業外損益は増加いたしましたが、営業利益の減少により、経常利益は14億4百万円と前年同期と比べ1億56百万円(10.0%)の減益となりました。

#### ③ 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、伊勢地区新店舗建設による既存設備の解体費用の計上のほか、経常利益の減少により、税金等調整前当期純利益は13億95百万円と前年同期と比べて1億65百万円(10.6%)の減益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は4億78百万円となりました。これらの結果、当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は8億83百万円と前年同期と比べ92百万円(9.5%)の減益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ① 資産の部

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末より3億64百万円増加し、156億18百万円となりました。これは主に、土地の増加2億60百万円、機械装置及び運搬具の増加1億65百万円、受取手形及び売掛金の増加76百万円等によるものであります。なお、土地取得については、自動車販売関連事業における既存の賃貸借契約物件の購入及び、自動車リサイクル事業における新規投資に伴う購入となります。

## ② 負債の部

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末より、4億94百万円減少し70億50百万円となりました。これは主に、借入金の減少8億5百万円、未払金の増加1億円、前受金の増加93百万円、買掛金の増加92百万円等によるものであります。

## ③ 純資産の部

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末より、8億59百万円増加し、85億68百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上8億83百万円、配当金の支払1億4百万円によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前年同期と比べ2百万円増加し、6億78百万円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は前年同期と比べ14億11百万円増加し、31億94百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が13億95百万円、減価償却費8億8百万円、棚卸資産の減少額12億35百万円、前受金の増加額93百万円等による資金の増加と、売上債権の増加額76百万円、法人税等の支払額5億77百万円等による資金の減少によるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は前年同期と比べ7億80百万円増加し、22億69百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出23億18百万円等によるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は前年同期と比べ4億22百万円増加し、9億23百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少額6億円、長期借入金の返済による支出2億5百万円、配当金の支払額1億4百万円等による資金の減少によるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	35.1	39.7	44.5	48.9	53.0
時価ベースの自己資本比率(%)	27.3	16.9	34.0	33.3	37.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.6	2.0	1.1	1.3	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	75.3	64.6	112.0	94.3	240.9

※ 各指標の算出方法は次のとおりであります。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
  - ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
  - ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
  - ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い
1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
  2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
  3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
  4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

自動車販売関連事業においては、経済活動は緩やかながら回復基調であることと、既存顧客に対するフォロー活動を強化することで、一定の車両販売の受注は確保できるものと考えております。また、車検・点検等の修理売上部門においても堅調に推移しております。しかし、自動車向け半導体の不足による各新車メーカーからの商品供給の遅れが回復傾向ではありますが、従来の入庫量に戻るには相当期間を要する可能性があります。また、中古車オークション相場の急激な変動等が懸念材料として考えられます。

新型コロナウイルス感染症の影響を考え新規出店等を控えておりましたが、伊勢地区への新規出店及び既存店舗のリニューアルに係る出店費用等を見込んでおります。なお、伊勢地区の新店舗は当期末完成予定となるため、新店舗に係る売上高増加は翌期以降と考えております。

これらにより、国産新車販売台数は5,300台(当期比0.8%増)、輸入新車販売台数は500台(当期比12.4%増)の合計5,800台(当期比1.7%増)、中古車販売台数は10,200台(当期比9.2%増)を計画しております。

自動車リサイクル事業では、海外取引については回復傾向にあるものの、鉄及びアルミ並びに希少希土類(レアアース・レアメタル)等の資源相場が今後上昇する見込みが低いいため、国内・海外向けのリユースパーツ販売等の更なる強化が必要となりますが、中古車オークション相場の影響により、使用済自動車の入庫の確保が困難となることが考えられます。これらにより、生産台数9,500台(当期比5.0%増)を計画しております。

以上の見通しにより、通期連結業績予想として、売上高は310億円(前年同期比1.7%増)、営業利益は13億83百万円(前年同期比0.8%増)、経常利益は、14億円(前年同期比0.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は9億14百万円(前年同期比3.5%増)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業展開をしていることから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(I F R S)の適用につきましては、今後の事業展開や国内同業他社の動向を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	776,208	758,873
受取手形及び売掛金	421,373	498,015
商品及び製品	3,408,120	3,384,094
仕掛品	4,514	7,277
原材料及び貯蔵品	72,203	88,151
その他	234,650	209,653
貸倒引当金	△156	△203
流動資産合計	4,916,915	4,945,862
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,752,684	6,862,628
減価償却累計額	△4,293,589	△4,471,142
建物及び構築物（純額）	2,459,094	2,391,485
機械装置及び運搬具	2,228,402	2,395,503
減価償却累計額	△1,100,781	△1,102,045
機械装置及び運搬具（純額）	1,127,620	1,293,458
土地	5,535,455	5,796,139
その他	601,517	605,950
減価償却累計額	△505,014	△529,062
その他（純額）	96,503	76,888
有形固定資産合計	9,218,674	9,557,971
無形固定資産	44,069	37,758
投資その他の資産		
投資有価証券	264,020	297,846
繰延税金資産	434,356	460,724
その他	375,820	318,653
投資その他の資産合計	1,074,197	1,077,224
固定資産合計	10,336,941	10,672,955
資産合計	15,253,856	15,618,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,702,330	1,794,507
短期借入金	1,900,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	205,980	195,120
未払金	296,707	396,858
未払法人税等	323,130	269,088
前受金	1,482,295	1,575,975
賞与引当金	156,925	161,034
その他	138,888	238,420
流動負債合計	6,206,258	5,931,004
固定負債		
長期借入金	195,120	—
役員退職慰労引当金	311,973	323,888
退職給付に係る負債	758,092	729,593
資産除去債務	45,439	46,332
その他	27,540	19,549
固定負債合計	1,338,165	1,119,364
負債合計	7,544,423	7,050,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	5,103,921	5,882,432
自己株式	△378	△378
株主資本合計	7,413,613	8,192,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,988	27,732
退職給付に係る調整累計額	25,034	60,471
その他の包括利益累計額合計	39,022	88,204
非支配株主持分	256,796	288,118
純資産合計	7,709,432	8,568,448
負債純資産合計	15,253,856	15,618,817

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	28,453,314	30,496,316
売上原価	22,723,699	24,631,075
売上総利益	5,729,615	5,865,240
販売費及び一般管理費	4,187,591	4,492,416
営業利益	1,542,023	1,372,824
営業外収益		
受取利息	101	157
受取配当金	8,635	9,913
受取賃貸料	11,420	11,610
受取保険金	23,976	30,248
その他	8,758	6,502
営業外収益合計	52,892	58,432
営業外費用		
支払利息	18,892	13,195
支払手数料	8,996	7,893
固定資産除却損	3,625	3,022
その他	2,563	2,803
営業外費用合計	34,078	26,915
経常利益	1,560,837	1,404,341
特別損失		
固定資産除却損	—	9,330
特別損失合計	—	9,330
税金等調整前当期純利益	1,560,837	1,395,011
法人税、住民税及び事業税	544,238	524,931
法人税等調整額	△8,361	△46,789
法人税等合計	535,876	478,141
当期純利益	1,024,961	916,869
非支配株主に帰属する当期純利益	49,081	33,368
親会社株主に帰属する当期純利益	975,880	883,501

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,024,961	916,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,548	13,744
退職給付に係る調整額	22,256	39,081
その他の包括利益合計	31,804	52,825
包括利益	1,056,766	969,694
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,007,923	937,490
非支配株主に係る包括利益	48,842	32,203

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2021年4月1日 至2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,161,078	1,148,992	4,233,030	△378	6,542,723	4,439	2,539	6,979	213,644	6,763,346
当期変動額										
剰余金の配当			△104,989		△104,989					△104,989
親会社株主に帰属する 当期純利益			975,880		975,880					975,880
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						9,548	22,494	32,043	43,152	75,196
当期変動額合計	—	—	870,890	—	870,890	9,548	22,494	32,043	43,152	946,086
当期末残高	1,161,078	1,148,992	5,103,921	△378	7,413,613	13,988	25,034	39,022	256,796	7,709,432

当連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,161,078	1,148,992	5,103,921	△378	7,413,613	13,988	25,034	39,022	256,796	7,709,432
当期変動額										
剰余金の配当			△104,989		△104,989					△104,989
親会社株主に帰属する 当期純利益			883,501		883,501					883,501
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)						13,744	35,437	49,181	31,322	80,503
当期変動額合計	—	—	778,511	—	778,511	13,744	35,437	49,181	31,322	859,015
当期末残高	1,161,078	1,148,992	5,882,432	△378	8,192,124	27,732	60,471	88,204	288,118	8,568,448

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,560,837	1,395,011
減価償却費	745,636	808,555
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,356	4,109
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,141	11,915
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	36,198	27,490
受取利息及び受取配当金	△8,736	△10,071
支払利息	18,892	13,195
固定資産除却損	—	9,330
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,321	△76,641
棚卸資産の増減額 (△は増加)	23,514	1,235,123
仕入債務の増減額 (△は減少)	△26,662	92,176
前受金の増減額 (△は減少)	85,224	93,679
その他	△78,409	172,032
小計	2,331,672	3,775,906
利息及び配当金の受取額	8,736	10,071
利息の支払額	△18,909	△13,264
法人税等の支払額	△537,694	△577,714
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,783,805	3,194,999
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△100,031	△80,031
定期預金の払戻による収入	80,030	100,031
有形固定資産の取得による支出	△1,461,019	△2,318,835
投資有価証券の取得による支出	△6,057	△16,569
その他	△1,920	46,168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,488,997	△2,269,236
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	△600,000
長期借入金の返済による支出	△282,565	△205,980
配当金の支払額	△105,057	△104,916
非支配株主への配当金の支払額	△5,690	△5,690
その他	△7,365	△6,512
財務活動によるキャッシュ・フロー	△500,677	△923,098
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△205,869	2,664
現金及び現金同等物の期首残高	882,047	676,177
現金及び現金同等物の期末残高	676,177	678,841

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、純粋持株会社体制のもと、各事業会社によって、その取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業会社を基礎とした商品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車販売関連事業」及び「自動車リサイクル事業」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「自動車販売関連事業」は、各メーカーの正規ディーラーとして新車・輸入車の販売を行う新車部門、中古車の販売・買取を行う中古車部門、自動車の車検・点検整備等を行うサービス部門などの事業を行っております。なお、当事業に㈱ホンダ四輪販売三重北及び㈱オートモールが該当いたします。

「自動車リサイクル事業」は、自動車リサイクル法に基づいた使用済自動車の解体及びリサイクル資源の販売、リユースパーツの国内外への販売を行っております。なお、当事業に㈱マーク・コーポレーションが該当いたします。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部利益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,365,041	1,088,273	28,453,314	—	28,453,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,368	24,667	33,036	△33,036	—
計	27,373,410	1,112,940	28,486,351	△33,036	28,453,314
セグメント利益	1,522,606	259,687	1,782,294	△240,271	1,542,023
セグメント資産	13,201,108	1,230,227	14,431,335	822,521	15,253,856
セグメント負債	7,173,769	217,773	7,391,543	152,880	7,544,423
その他の項目					
減価償却費	709,606	27,640	737,247	8,389	745,636
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,434,014	2,311	1,436,325	7,234	1,443,560

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△240,271千円には、セグメント間取引消去275千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△240,546千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額822,521千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地であります。
  - (3) セグメント負債の調整額152,880千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない役員退職慰労引当金であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,109,488	1,386,827	30,496,316	—	30,496,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	84,626	47,672	132,299	△132,299	—
計	29,194,115	1,434,500	30,628,615	△132,299	30,496,316
セグメント利益	1,414,311	180,295	1,594,606	△221,782	1,372,824
セグメント資産	13,485,109	1,271,190	14,756,300	862,516	15,618,817
セグメント負債	6,761,255	168,097	6,929,353	121,016	7,050,369
その他の項目					
減価償却費	779,091	22,330	801,421	7,133	808,555
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,337,520	36,843	2,374,364	—	2,374,364

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△221,782千円には、セグメント間取引消去△4,825千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△216,956千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。
  - (2) セグメント資産の調整額862,516千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない土地であります。
  - (3) セグメント負債の調整額121,016千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に報告セグメントに帰属しない役員退職慰労引当金であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	3,549.22円	3,943.40円
1株当たり当期純利益	464.75円	420.75円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,709,432	8,568,448
普通株式に係る純資産額(千円)	7,452,636	8,280,329
差額の主な内訳(千円)		
非支配株主持分	256,796	288,118
普通株式の発行済株式数(株)	2,100,000	2,100,000
普通株式の自己株式数(株)	207	207
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	2,099,793	2,099,793

## 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	975,880	883,501
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	975,880	883,501
普通株式の期中平均株式数(株)	2,099,793	2,099,793

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。